



民児協 りゅうとう

33

第32号

令和3年1月13日

発行者

竜王町民生委員児童委員協議会

事務局

社会福祉法人竜王町社会福祉協議会

電話 0748-58-1475



写真提供：青木 正博 氏 場所：苗村神社 撮影日：1月1日

明けましておめでとうございます。

令和3年、丑の年。インドでは神様として大切にされている牛。牛はおっとりしていることからも、今年は「慌てることなくじっくり構えよ」でしょうか。

その丑年の初夢にどのような夢を見られたでしょうか。「一富士二鷹三茄子」以外にも吉兆を感じる夢は、五、六、七と続くようです。

ただ、今はコロナウイルスによって人との関係が分断されやすく憂いは多いですが、憂うばかりでは発展もなく教訓もあるのではと模索しています。

「人は人によって人となる」

この様な言葉をどこかで耳にした記憶がありますが、この事は関わり合うことでしか成長できない私達人間の性を言い得ていると思います。

昨年、竜王町民生委員児童委員協議会としての活動は自粛していましたが、個々の委員は担当地域で工夫をしながらソーシャルディスタンスを保ち、見守りや相談など地道に活動を続けております。今後とも、皆様と歩みを進めたくご支援ご協力をよろしくお願い致します。

竜王町民生委員児童委員協議会 会長 小林 江里子

私たち、民生委員主任児童委員です!!

主任児童委員は、民生委員の中でも子どもに関する事を専門とし、担当地域を持たず町全体を活動の場所としています。竜王町には、2名の主任児童委員がいます。

学校や町の児童福祉に関する機関と各字の民生委員との連絡調整を行うとともに活動に対する援助や協力をっています。

具体的な活動として、校園への訪問を行い児童生徒の実態把握に努めたり、各字の民生委員と先生が交流する場を設けたりしています。また、青少年育成に関わる団体の活動（あいさつ運動など）にも参加しています。

今年度は、コロナの影響で十分な活動ができていませんが、子どもたちの健やかな成長を願って学校や民生委員の皆さんと連携をとりながら活動を進めていきたいと考えています。



竜王町民生委員主任児童委員 赤佐 光弘
前田 恵子



手紙とバラの花をお届けしました



長期化するコロナ禍対策の一方策として、竜王町社会福祉協議会では「100 人文通プロジェクト」が実施されました。我々民生委員児童委員も各担当地域の一人暮らし高齢者の見守り活動の一環として、手紙に杉本バラ園様提供のバラの花を添えて、昨秋（10月3日）にお届けしました。

ご自宅を訪問すると、手紙やバラの花を見ながら「心待ちしていました。」「心が温まりました。」と
にこやかな表情で喜んでおられました。

竜王町民生委員児童委員協議会

副会長 小西 精



しあわせの黄色いタ・オ・ル

新型コロナウイルスによる未曾有の苦難に立ち向かわなければならない状況のもと、活動自粛となり各部会の活動が殆ど出来なくなりました。高齢者福祉部会ではどうしたものかと部会内で相談をした結果、クリスマスに合わせて「何かと役立つタオルを贈ろう！」という事となり、ささやかですが黄色のタオルを町内 18 か所の高齢者施設へお届けしました。

利用されている方々とはお話をする機会がありませんでしたが、以前のようにおしゃべりが出来る日までお変わりなくお過ごし下さい。

高齢者福祉部会

部会長 中松 計次



特殊詐欺から自分を守る

「留守電ボタンをポチッ」と作戦

◎在宅時も家の電話を留守番電話設定にするだけ！

詐欺犯人は、留守番電話につながると電話をきます。

メッセージを聞いて、必要なところにだけかけなおしましょう。

「私は大丈夫！」…その自信はどこからですか？

犯人は、詐欺のプロです。電話に出て、相手の話を聞いてしまうと、騙されてしまいます。詐欺電話から自分を守るために、在宅時も、常に留守番電話設定にしましょう。

何かあった場合は、最寄りの警察署
または、警察相談専用電話 #9110
までご連絡ください。



編集後記

新型コロナウイルスが猛威を振るっている中、皆さんの地域でも楽しみにされている色々な行事が中止となり、先の見えない不安に駆られておられると思います。

こんな時こそみんなで声を掛け合い、助け合いながら誰もが健康で幸せに暮らしていくよう、私達民生委員児童委員も橋渡しが出来ればと願っています。 広報委員

